

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	電気工学概論
科目基礎情報					
科目番号	0040		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	物質工学科 (生物工学コース)		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	1	
教科書/教材	「電気・電子工学概論 オームの法則～コンピュータサイエンス」和田清・岡田龍雄・興雄司・佐道泰造著、朝倉書店				
担当教員	岡部 弘佑				
到達目標					
(1)電気・電子工学の骨格となる知識を取得する(C-1) (2)簡単な電気回路について電圧・電流の計算ができる(C-1)					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
電気回路の計算	回路の諸定理を用いて簡単な回路の電圧・電流が計算できる	オームの法則を用いて回路の電圧・電流が計算できる	オームの法則を用いて回路の電圧・電流が計算できない		
学科の到達目標項目との関係					
C-1					
教育方法等					
概要	物質工学分野を専攻した技術者にとっても電気電子機器は多く活用されている。本授業では、物質工学科の学生を対象に、電気・電子工学の幅広い知識の取得に重点を置いて、物質工学分野への活用を考慮しながら学習する。				
授業の進め方・方法	この科目は学修単位科目のため、授業毎に自学自習のためのレポート課題を課します。				
注意点	事前学習：当該週の講義範囲に関する教科書の内容を事前に読んでおくこと。その際に物理学、数学の部分で理解が不足していると感じた場合には該当分野を復習しておくこと。 事後学習：講義では一回の授業当たり教科書の1章程度進む。例題等を参考に章末問題を解くなどして理解を深めておくこと。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	電気と磁気	電気と磁気にもなる物理現象について知っている	
		2週	電気回路	電気回路について計算できる	
		3週	電気計測	電気計測の基礎的な知識を持っている	
		4週	制御	システムの特徴表現法と安定判別法について知っている	
		5週	コンピュータと情報処理	コンピュータの基本概念とアーキテクチャを知っている	
		6週	半導体デバイス	簡単な半導体デバイスの動作原理を知っている	
		7週	電子回路	オペアンプとデジタル回路について知っている	
		8週	定期試験	定期試験	
	2ndQ	9週	試験の返却と解説		
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		定期試験	課題	合計	
総合評価割合		50	50	100	
基礎的能力		40	50	90	
専門的能力		10	0	10	